

平成 21 年 10 月 5 日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

平成 21 年度 SPARC Japan 事業の実施状況と今後の予定

■平成 21 年度活動の方針

- 平成 21 年度は、第 2 期と第 3 期の移行期間とし、次期活動の検討を行う。
- 移行期間は、アドボカシー活動、国際連携、その他（学術情報流通の改善に関連するプロジェクト支援）を行う。

■組織体制

- 平成 20 年度に出た方針で、運営員会、ワーキンググループ（セミナー実行委員会と合体）の 2 委員会体制が提案された。
- 平成 21 年度後半の事業の体制をどうするか要検討 【資料 No.2-1:別紙①】

■平成 21 年度活動の骨子

1) アドボカシー活動

- ・ SPARC Japan セミナー
→Open Access Week のイベント他、8 回実施予定 【資料 No.2-2】
- ・ SPARC Japan ニュースレター
→企画・編集は外注。第 2 号を今秋発行予定 【資料 No.2-3】
- ・ 国際会議
→DRFIC2009（オープンアクセスリポジトリの現在と未来）共同主催
【資料 No.2-4】

2) 学会誌合同プロモーション支援

- ・ H21 年度の支援内容は「個別学会誌ではなく合同」。
- ・ 今年度実績：化学系合同パンフレット作成、生物工学会から国内開催国際学会への出展等 【資料 No.2-5】
→他のパートナー誌に対して説明が必要（第 1 回運営委員会後早々に）

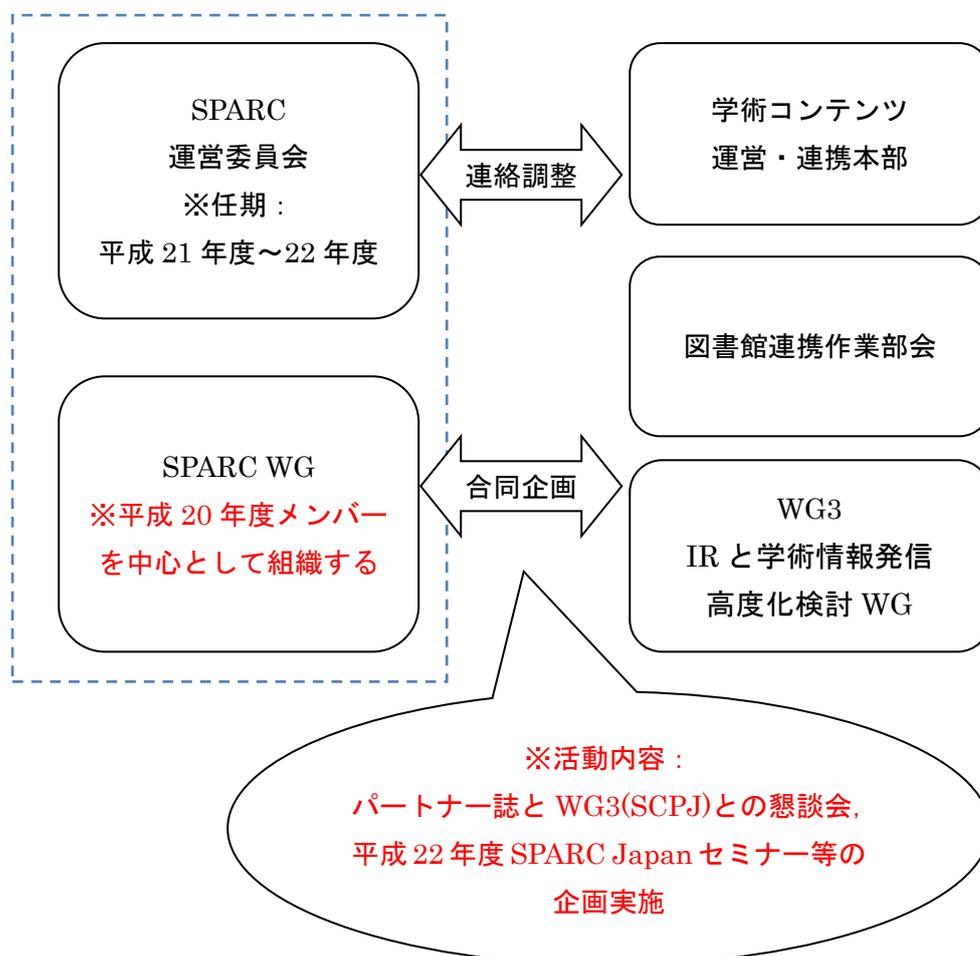
3) 大学図書館、機関リポジトリとの連携

- ・ 数学ポータル（北大・行木先生） 【資料 No.2-6】
- ・ パートナー誌と WG3（IR と学術情報発信高度化検討 WG）との懇談会
【資料 No.2-7】

4) SPARC Japan 第 3 期のありかたの検討 【資料 No.2-1:別紙②】

- ・ 第 2 期までの事業のまとめ（CSI 委託事業） 【資料 No.2-8】
- ・ CSI 事業との融合による高次の学術コミュニケーション支援 【参考資料 No.1】
- ・ 審議会、学術会議の動きに合わせた検討 【参考資料 No.3~4】

平成 21 年度後半の事業の体制（案）



【参考：平成 20 年度のメンバー】

| ワーキンググループ | | セミナー実行委員 | |
|-----------|----------------|--------------|-------|
| 日本化学会 | 林 和弘 | 日本数学会 | 下越 弘子 |
| 電子情報通信学会 | 水橋 慶 | 物理系学術誌刊行センター | 鈴木 英則 |
| 一橋大学 | 大場 高志 | 物質・材料研究機構 | 谷藤 幹子 |
| 明治大学図書館 | 柴尾 晋 | 日本動物学会 | 永井 裕子 |
| 国立情報学研究所 | 根岸 正光 | 日本化学会 | 林 和弘 |
| 国立情報学研究所 | 安達 淳 | 日本農芸化学会 | 日岡 康恵 |
| 事務局 | 永井 CEO(UniBio) | 電子情報通信学会 | 水橋 慶 |
| | 尾城課長, SPARC 担当 | 化学工学会 | 山下 和子 |

平成21年度 SPARCスケジュール(案)

| | SPARC運営委員会 | 学術コンテンツ運営・連携本部 | イベント |
|---------------|---|---|---|
| 平成21年4月 | | | |
| 平成21年5月 | | H21 作業部会 ① 5月25日 ・H21CSI委託採択機関決定 | |
| 平成21年6月 | | H21 連携本部 ① 6月30日 ・H21CSI委託採択機関報告 ・第3期CSI基本方針決定 | ・6/25 第1回セミナー 研究者は発信する |
| 平成21年7月 | | H21 作業部会 ② 7月10日 ・第2期CSI中間評価開始 ・第3期CSI方針検討開始 →7/1 H21CSI委託事業開始 | |
| 平成21年8月 | | | ・8/4 第2回セミナー 非営利出版のサステイナ ビリティとは—OUPに学ぶ |
| 平成21年9月 | | | ・9/8-9 第3回セミナー 数学におけるデジタルライ ブラリー構築へ向けて (RIMS) ・9/17 第4回セミナー ZSプロジェクトについて(動 物学会) |
| 平成21年10月 | H21 SPARC運営委 ① 10月5日 ・H21SPARC事業の立ち上げ ・第3期SPARC事業方針検討 | H21 作業部会 ③ 10月27日 ・第2期CSI中間評価作成 ・第3期CSI方針(案)作成 | ・10/20 第5回セミナー オープンアクセスのビジネ スモデルと研究者の実際 (OA week) |
| 平成21年11月 | 必要に応じてSPARC WG実施 | H21 連携本部 ② 11月20日 ・第2期中間評価報告 ・第3期CSI方針決定 ・SPARC Japanの活動状況につ いて【報告】 | ・11/11 第6回セミナー NIH Public Access Policy は受け入れられたのか？ (図書館総合展) |
| 平成21年12月 | | | ・12/11 第7回セミナー 機関リポジトリ方針、著作 権、電子ジャーナル—人 文系ジャーナルの現状 |
| 平成22年1月 | H21 SPARC運営委 ② 1月頃 ・第3期SPARC事業方針決定 ・第3期SPARC事業計画検討 | | ・実施日未定 第8回セミ ナー ALPSP ジャーナル出版セ ミナー & トレーニング ・CSI委託事業中間まとめ |
| 平成22年2月 | | H21 作業部会 ④ 2月頃 ・第3期CSI事業計画(案)作成 | ・実施日未定 SPARCパートナー誌と図 書館連携作業部会WG3の 懇談会 |
| 平成22年3月 | 必要に応じてSPARC WG実施 | H21 連携本部 ③ 3月頃 ・第3期CSI事業計画決定 ・SPARC Japanの第3期活動方針 について【報告】 | ・CSI委託事業レポート |
| 平成22年4月 以降 | H22 SPARC運営委 ① 4月以降 ・第3期SPARC事業計画決定 | | |